



市政研究会 水谷 進 議員

文化財について

- ①神戸城の整備について
- ②古文書の収集と公開について

質問①(1) 神戸城跡を公園部分と一体的に整備をするべきと思うがどうか。

答弁①(1) 史跡部分を含め、公園部分と一体化した整備を検討する時期に来ていると考えている。

質問①(2) 神戸城の改修の予定はあるのか。

答弁①(2) 地元や県、市の関係機関と協議をしながら緊急課題と長期的展望に立った改修整備を進めていく。

質問①(3) 鈴鹿市の歴史観光施設として積極的にPRすべきと思うがどうか。

答弁①(3) 神戸城を核とした神戸の町並みや参宮道を物語ルートとした企画など積極的にPRしていく。

質問②(1) 収集についての考え方と状況はどうか。

答弁②(1) 貴重な資料を寄付戴けるよう「広報すずか」などを通じて情報をお願いしている。現在、西館の郷土資料室には約2万点の資料を所蔵している。

質問②(2) 公開はどのような方法を考えているのか。

答弁②(2) 郷土資料室での閲覧の他、本年度は考古博物館の特別展示室で新収藏品展を計画している。

質問②(3) 鈴鹿市歴史資料館の建設を考えてはどうか。

答弁②(3) 現在、考古博物館や各資料館のネットワーク化や所蔵資料の目録化に努力しているところであり、現時点では新歴史資料館の建設は計画にない。



あくていぶ21 伊藤 健司 議員

- ①安全安心な学校給食について
- ②療育手帳取得の重要性について
- ③視覚障がい者福祉サービスについて

質問① 本年度9月完成の学校給食センターの管理運営方法と食材購入・業者選定・検査機能について。

答弁① 11校8園分約6千食の調理能力をもち、ドライシステム方式による衛生管理。品質保証を表すJAS企画を基本とした食材選定。鈴鹿市学校給食協会の専門委員会での献立を検討決定し、共同購入業者選定および共同購入食材選定等を行なう。検査機能は保健所との連携に加えて他市の状況を参考にしながら安全な食材確保のための業者指導をする。

質問② 軽度の知的障がいがある方を福祉支援につなげるための療育手帳取得を促す大切さについて。

答弁② 療育手帳の取得は、福祉サービスを利用するために必要なものとされているので、福祉事務所のみならず関係機関と連携し、手帳申請手続きや案内等、手帳取得につながるよう支援を行っていく。

質問③ 盲老人ホーム建設計画はあるのか。また現在ある介護サービス内容で視覚障がいへの配慮は。

答弁③ 県内に盲老人ホームは1ヶ所あるが、本市での建設計画はない。しかし視覚障がい者が安心して介護サービスを受けることができるよう、サービス事業所では細やかな配慮を心がけるよう努めていく。



すずか倶楽部 中西 大輔 議員

NTT跡地と周辺地域の活性化について

質問(1) NTT研修センタ跡地を中心とした地域に、どのような現状認識をもっているか。

答弁(1) 産学官民交流ゾーンとして、都市マスタープランで位置づけている。

質問(2) 旭ヶ丘小学校に隣接するゾーンについて、高層マンション的な建築も可能か。

答弁(2) 可能である。

質問(3) 防災型広場と新産業支援ゾーンの進捗状況、市民活動拠点施設としてはどうか。

答弁(3) 前者は野球場としての活用も視野に、市直轄もしくはURの整備メニューを用いるかを、整理しながら決定。後者はものづくり支援センターとして検討中。市民活動拠点は現在視野に入っていない。

質問(4) 防災型広場と新産業支援ゾーンについて、白江土地区画整理事業保留地と土地交換し取得してはどうか。そこに、計画されている施設を公民館の機能をあわせ建設し、学校隣接の複合的な施設としてはどうか。その際、現在の旭ヶ丘公民館は、市民サービスの窓口と、地域高齢者の福祉対策拠点にしてはどうか。

答弁(4) そのようなことは検討していない。

質問(5) 計画の再評価と再検討はあるか？

答弁(5) 考えはない。

※UR=独立行政法人都市再生機構